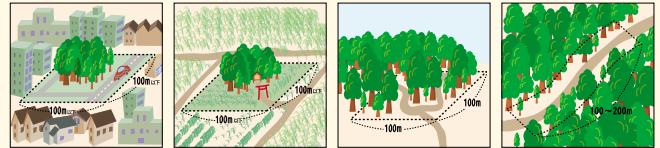


# 調査の概要

## 調べた林は？

参加者のみなさんが住んでいる場所や学校、お勤め先近くのよく出かけられる林を選んでいただきました。調査範囲は100m四方以下の小さい林では、林の全体とその周辺を、100m四方以上の広い林や林道のようなところでは、広めの道にそって100～200mくらいを対象に、なかに入れる場合には林の縁を囲むようにして100m四方を調べていただきました。



## 何を調べたの？

### 林のようす調べ

2000年秋冬調査で1回、2001年春夏調査で2回調査を行っていただきました。

秋冬編：林の置かれている環境、林のようすや、手入れの仕方など

春編：林の置かれている環境、林の地面のようす、人々の利用の仕方など

夏編：林の置かれている環境、樹木の種類や生え方、林のゴミの状況など

### 秋冬調査（2000年9月～12月実施）

#### ドングリ調べ

調査地で見つかったドングリの果実と殻斗の実物を調査票に貼って送っていただきました。

#### 赤い実調べ

調査地で見つかった赤い実の写真を撮り、調査票に貼って送っていただきました。

### 春夏調査（春の調査：2001年3～5月実施）

#### タンポポ調べ

調査地で見つかったタンポポの花と果実（そう果）を調査票に貼って送っていただきました。

#### 黄色い花調べ

調査地で見つかった黄色い花の写真を撮り、調査票に貼って送っていただきました。

### 春夏調査（夏の調査：2001年7～8月実施）

#### セミのぬげがら調べ

調査地で見つかったセミのぬげがらをそれぞれ1個ずつフィルムケースに入れて、調査票といっしょに送っていただきました。

### 夏の虫調べ

特定の7つのグループの虫の仲間を調査地で探し、見つけた虫について写真に撮り、調査票に貼って送っていただきました。また印象に残った虫も写真で報告していただきました。

### 林のアルバム

林の四季の変化がよくわかるような場所を選んで、同じ位置から写真を撮り、記録としてまとめていただきました。また、自主的に送ってくださった方もいました。

また、～の調査で、調べた動植物が見つからなかった場合には、「見つからなかった」という情報を調査票に記入して送っていただきました。

（詳しい調査内容は、調査のてびきをご覧ください。か、せいぶつたようせい 生物多様性センターWebページ <http://www.biodic.go.jp/mijika/>）をご覧ください。）

## 身近な林・生きもの調査カレンダー

調査内容	2000年 秋冬調査		2001年 春夏調査	
	9～12月		春の調査3～5月	夏の調査7～8月
林のようすを調べる	林のようす調べ秋冬編		春編	夏編
実物を集める	ドングリ調べ		タンポポ調べ	セミのぬげがら調べ
写真を撮る	赤い実調べ		黄色い花調べ	夏の虫調べ
林のアルバムづくり	●			

## 分布図や集計表の作成にあたって

このページ以降にご紹介する分布図や集計表は、以下のような作業を経て作成しました。

### 種名の確認作業（同定作業）

送っていただいたドングリ（実物）・赤い実（写真）タンポポ（実物）・黄色い花（写真）セミのぬげがら（実物）・夏の虫（写真）は、それぞれ横須賀市自然・人文博物館の大森雄治学芸員、平塚市博物館の浜口哲一学芸員、厚木市郷土資料館の槐（えんじゅ）真史主任兼学芸員によって種や種数の確認作業（同定作業）をしていただきました。実物の状態が悪かったり、不鮮明な写真で判断に迷うものは集計から除かせていただきました。

### 調査地の位置の特定方法

調査票から調査地や種の分布図を作成するには、林のようす調べ調

査票にご記入いただいた林の場所のデータを用いました。

調査票にご記入いただいた都道府県名、郡名、市町村名、区名、地名をコンピュータに登録された大字名の「住所データ」と2万5千分の1地形図の地名を収録した「地名データ」に照合して、位置を特定しました。

しかし、お寄せいただいた調査票のなかには、残念ながら都道府県名だけのものや市町村名だけのもの、あるいは地名が記入されていてもコンピュータでは正確な位置が特定できないものがありました。今回は、ご記入いただいた地名から、調査地点が特定できた調査票をもとに分布図を作成しました。

### 集計表やグラフの作成にあたって

林のようす調べ調査票は、林の住所データに少なくとも都道府県名の記入がある調査票を対象にしました。また、季節ごとの動植物の調査票は、上記の林のようす調べ調査票があるものを対象に集計しました。